



「わった～バス大実験」の実施について ～1 人ひとりの少しの工夫で渋滞をなくそう～

■「わった～バス大実験」の実施内容について、下記の日程で記者レクを行います。

- 日時:平成 30 年 9 月 4 日(火)14:00～14:30
- 場所:那覇第2地方合同庁舎2号館 2階 共用会議室 C
- 参加者募集期間:本日より募集開始
- 実験期間:平成 30 年 10 月 15 日(月)～平成 30 年 10 月 31 日(水)
- 実験概要(別紙参照)

わった～バス党法入党員、バス党サポーター、従業者が多い企業や大学等、昨年度より規模を拡大し、実験参加の呼びかけを行い、実験期間中の通勤・退社時に可能な範囲内で公共交通転換や自転車・徒歩通勤、時差出勤等の取組みを実施して頂く。実験実施後には、各社の取組み内容や規模、実施に向けた課題等についてアンケート調査を行い、併せてビッグデータを用いた効果分析等を行う。

※URL : <http://www.shimatate.org/try-bus/>

【問い合わせ先】

内閣府 沖縄総合事務局 TEL098-866-0031(代)

開発建設部 道路建設課

道路建設課 課長 おおしろ大城 てるひこ照彦 (内:4211)

課長補佐 こめす米須 としひこ俊彦 (内:4216)

ホームページ:<http://www.ogb.go.jp/kaiken/>

わった〜バス大実験

〜 一人ひとりの少しの工夫で渋滞をなくそう!! 〜

参加事業所
募集中!!

実験期間：平成 **30** 年 **10** 月 **15** 日 ~ **10** 月 **31** 日

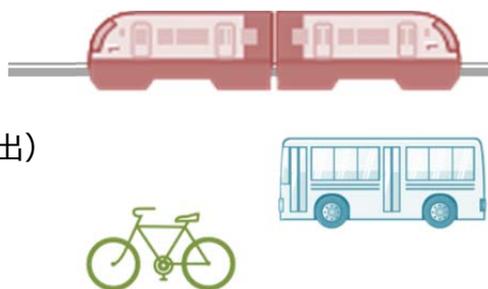
わった〜バス大実験は、実験期間中に参加頂いた企業や事業所等の皆様に、ノーマイカー通勤や時差出勤などに取組んで頂くことで「かしこいクルマの使い方」について考えて頂くとともに、道路渋滞の減少効果について検証を行うものです。

募集内容

実験期間中に、公共交通機関、自転車、徒歩、あいのり等によるノーマイカー通勤、または時差出勤に取組んで頂き、実施結果をご報告頂ける企業・事業所等を募集しています。(応募は裏面の参加申込書をご利用ください)

取組内容の例

- OK 読書しながらバス・モノレール通勤
- OK ラジオ体操に出かけるつもりで早朝出勤 (時差：早出)
- OK たまにはやってみたい重役出勤 (時差：遅出)
- OK 通勤途中に住む同僚をお迎えするあいのり通勤
- OK 自宅で眠っている自転車を使った通勤
- OK 職場の飲み会に併せてみんな揃ってバス・モノレール通勤 などなど



※ 実験期間中にノーマイカー通勤や時差出勤に取組んで頂きアンケートへ回答頂けることが参加条件となります (支店、事業所、部署単位でご参加頂きます)

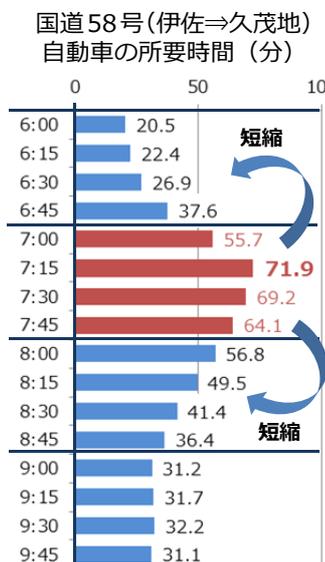
※ 実験期間中であればお一人様 1 日だけの取組からでも構いません

交通渋滞の削減

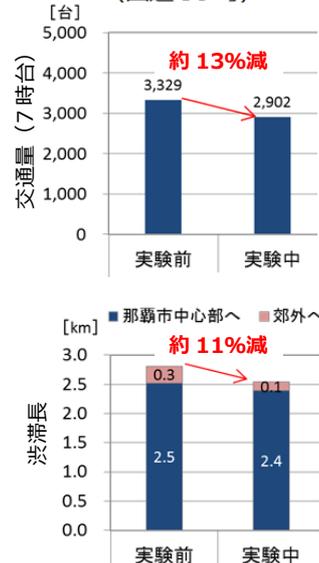
1 割の協力 (例えば 10 日に 1 日、10 人に 1 人) で渋滞に大きな変化が!!

最新のビッグデータ分析※1の結果では、渋滞のピークである朝 7 時台の自動車交通量と、渋滞が緩和する 8 時台の交通量の差は約 1 割でした。また、移動にかかる所要時間も前後 1 時間ずらせば大幅に短縮されることも分かっています。昨年は 160 の企業・団体、延べ 1,917 人に実験へ参加頂いた結果、国道 58 号では平日 7 時台の交通量、および渋滞長が約 1 割程度減少している事が確認されました。

※1 ビッグデータ分析 (国道 58 号、集計期間：2016 年 7 月)
交通量：沖縄県警 (トラフィックカウンター) 自動車旅行速度：沖縄総合事務局 (民間プロブデータ)



H29 実験期間中の変化 (国道 58 号)



豊富なメリット



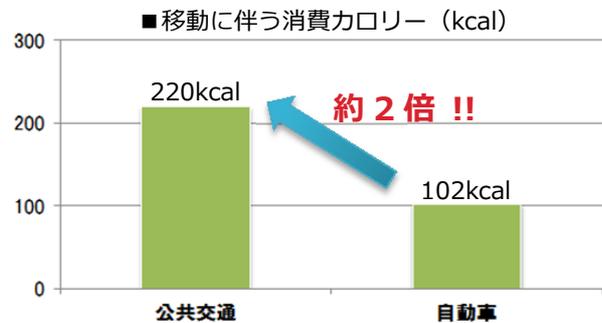
昨年実験に参加頂いた方々のアンケート結果からは、取組んだ内容毎に色々なメリットがある事もわかりました。たまにはバス通勤してアフター5にお酒を楽しんだり、時間を有効に使ったりしてみるのはいかがでしょうか？

順位	取組を継続したいと思う理由 TOP 5 (平成29年実験アンケートより)	
	路線バス通勤	時差出勤
1位	アフター5でお酒が飲める	時間が有効に使える
2位	時間が有効に使える	ストレスがなくなる
3位	健康に良い	通勤時間が読める
4位	ストレスがなくなる	事故の危険性が減る
5位	駐車場の心配がない	環境に良い

カラダにも優しい



往復 30km の通勤を考えた時、自動車に比べて公共交通を利用した場合は消費カロリーが約 2 倍も高くなります。これを 1 年続ければ燃焼する脂肪の重さにして約 4.5kg になります。



出典：厚生労働省 第6次改定日本人の栄養所要量

わった～バス大実験参加申込書

企業名・事業所名					
住所					
全従業員数	_____人	全従業員のうち 自動車通勤をしている従業員数		約 _____人	
		自動車通勤をしている従業員の うち、実験参加予定の従業員数		約 _____人	
追跡調査の協力可否		<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 ※平成31年1月頃に1回のアンケートを予定			
従業員の通勤に関する取組み等について		従業員の通勤手段 → <input type="checkbox"/> 把握している <input type="checkbox"/> 把握していない 通勤手当 → <input type="checkbox"/> 支給している <input type="checkbox"/> 支給していない 従業員用駐車場 → <input type="checkbox"/> 確保している <input type="checkbox"/> 確保していない 通勤手当等の見直し → <input type="checkbox"/> 検討している <input type="checkbox"/> 検討したい <input type="checkbox"/> 予定は無い			
ご担当者	所属(部署)			氏名	
	TEL		FAX	E-Mail	
企業名・事業所名の公表		<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 ※実験HP等での公表を予定しております。			

《 お申し込み・お問い合わせ先 》 一般社団法人 沖縄しまたて協会 技術環境研究所
 FAX : 098-874-5301 / TEL : 098-879-2091 / E-Mail : try-bus@shimatate.or.jp
 わった～バス大実験サイト : <http://www.shimatate.org/try-bus/>



実験サイトはコチラ